

- 問1 イタリアなどの地中海沿岸部では、10月から11月にかけて種をまき、冬を越して翌年6月に収穫する「小麦」の栽培が盛んに行われています。この地域で、夏の時期を避けて冬から春にかけて小麦を栽培する理由として最も適切な説明はどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- 夏の時期は非常に気温が低く小麦の成長に適さないため、比較的温暖な冬の期間を利用して栽培するため。
 - 夏の時期は雨が極端に少なく乾燥するため、比較的雨が得られる冬の間に成長させ、本格的な乾燥期を前に収穫するため。
 - 夏の時期は降水量が非常に多く洪水が発生しやすいため、その被害を避けるために冬から春にかけて栽培するため。
 - 夏の時期は日照時間が極端に短く光合成が十分にできないため、太陽高度が変化する冬の時期を選択して栽培するため。
- 問2 ヨーロッパ連合（EU）は、面積が約447.2万平方キロメートルにおよび、GDPでも世界有数の規模を誇っています。このようにヨーロッパの多くの国々が統合し、一つのまとまった経済圏を築いている主な理由として最も適切なものはどれですか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）
- ヨーロッパ大陸を一つの国として統合し、各国が持つ主権や独自の言語を完全に廃止するため
 - 域内の関税を高く設定することで、各国の伝統的な産業を個別に保護するため
 - 加盟国がまとまることで市場規模を拡大し、アメリカや中国などの大国に対抗できる経済競争力を確保するため
 - 石炭や鉄鋼などの資源を特定の国が独占し、域外への輸出を制限して利益を上げるため
- 問3 イギリスの首都ロンドン郊外などの地域では、情報通信技術（ICT）をはじめとする高度な知識や技術を活用する産業が集積しています。このような、現代の産業構造において中心的な役割を果たす産業を何と呼びますか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
- プランテーション
 - 伝統的工芸品産業
 - 先端技術産業
 - 労働集約型産業
- 問4 ロンドンなどのヨーロッパ西部において、緯度が高いにもかかわらず冬の気温が極端に下がらず、気温の年較差が小さくなる理由を説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 三重県公立入試 類似）
- 北大西洋海流という暖流の上空を、偏西風が吹いて暖かい空気を陸地に運ぶため。
 - 赤道付近から吹いてくる貿易風の影響で、一年中高温多湿な空気が供給されるため。
 - 大陸内部から吹き出す乾燥した空気が、雲の発生を抑えて日照時間を増やすため。
 - 地中海から吹き下ろす冷たい季節風が、夏の気温上昇を抑える役割を果たすため。
- 問5 ヨーロッパ西岸の気候に大きな影響を与えている、高緯度まで北上する暖流の名称と、その上空で温められた空気を陸地へと運ぶ、一年中一定の方向に吹く風の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2015年 大分県公立入試 類似）
- 北大西洋海流 — 季節風
 - 日本海流 — 偏西風
 - メキシコ湾流 — 貿易風
 - 北大西洋海流 — 偏西風
- 問6 温帯の気候区分のうち、イタリアなどの地中海沿岸や緯度三十度から四十度付近の大陸西岸に分布する気候について、夏季は乾燥して降水量が極端に少なく、冬季に一定の降水が見られる気候を何といいますか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
- サバナ気候
 - 温暖湿潤気候
 - 西岸海洋性気候
 - 地中海性気候
- 問7 ヨーロッパの航空機産業について、フランス南西部のトゥールーズに本社や最終組み立て工場を置く企業を中心とした生産体制の特徴として、最も適切な説明を選択してください。（2025年 東京都公立入試 類似）
- EU非加盟国からの安価な部品輸入を促進するため、フランス国内の工場はすべて沿岸部の港湾都市に集中している。
 - ヨーロッパ各国の分業体制がとられており、各国で製造された部品をトゥールーズに集約して最終製品を組み立てている。
 - かつて北東部で産出された鉄鉱石を主な原料として利用するため、現在も内陸の鉱山地帯が航空機生産の全工程を担っている。
 - 原材料の確保から部品製造、最終組み立てまでのすべての工程を、トゥールーズ周辺の地域のみで完結させている。
- 問8 ヨーロッパ州に位置するフランスの首都は、緯線と経線を用いた位置の説明として、北緯50度付近、かつ本初子午線（経度0度）のすぐ近くに位置するという特徴があります。この都市の名称として正しいものを選びなさい。（2022年 福岡県公立入試 類似）
- ベルリン
 - マドリード
 - ロンドン
 - パリ
- 問9 ヨーロッパの国々の結びつきについて述べた次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「イタリアなどの国々が加盟する（①）では、経済統合の一環として共通通貨である（②）が導入され、多くの加盟国で使用されている。」（2015年 岐阜県公立入試 類似）
- ① 北大西洋条約機構（NATO）
② ユーロ
 - ① ②
東南アジア諸国連合（ASEAN）
ドル
 - ① 欧州連合（EU）
② ポンド
 - ① 欧州連合（EU）
② ユーロ
- 問10 イタリアなどの地中海沿岸では、強い日差しを遮るために家の壁を白く塗る工夫が見られます。この地域の、夏に乾燥し冬に雨が降るという気候条件を利用して、オリーブやオレンジ、ブドウなどを栽培する農業を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）
- 西岸海洋性気候の農業
 - 混合農業
 - 促成栽培
 - 地中海性気候の農業
- 問11 ロシアの資源と産業の結びつきについて述べた次の文のうち、東部に2000mを超える山脈が連なり、北西部に鉄鉱石の鉱山が分布しているという状況を踏まえた説明として、正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- 北西部の鉄鉱石資源や、自国の石炭を用いた火力発電による電力を背景に、アルミニウム工業などが発展している。
 - 東部の高い山脈の影響で国内の石炭が利用できないため、火力発電を廃止し、太陽光発電のみで鉄鋼業を維持している。
 - 東部の山脈から流れる急峻な河川を利用した水力発電が全電力の9割を占め、アルミニウムを全量輸入している。
 - 北西部に鉄鉱石が集中しているため、石炭をすべて近隣諸国から輸入して、沿岸部で自動車工業のみに特化している。
- 問12 小麦の輸出統計において、アメリカ合衆国、カナダ、ロシアといった国々が世界の輸出量の上位を占めている主な理由として、これらの国々に共通する農業の背景を述べたものを選びなさい。（2019年 高山県公立入試 類似）
- 広大な平野において大型の機械を用いた大規模な農業が行われているため。
 - 熱帯の気候を生かし、特定の農産物を輸出用に栽培するモノカルチャー農業が普及しているため。
 - 地中海性気候による夏季の乾燥を利用した、果樹栽培や野菜作りが中心であるため。
 - 山間部の限られた土地を利用し、労働力を集中させた集約的な稲作が行われているため。
- 問13 1993年にマーストリヒト条約が発効されたことにより、ヨーロッパの多くの国々が、国境を越えた「人・物・資本・サービス」の移動の自由化や、経済・政治的な統合をさらに深めるために発足させた組織の名称として正しいものを選びなさい。（2021年 大分県公立入試 類似）
- 欧州連合（EU）
 - 北大西洋条約機構（NATO）
 - 石油輸出国機構（OPEC）
 - 世界貿易機関（WTO）

答え合わせ・解説

問1	答え 2 夏の時期は雨が極端に少なく乾燥するため、比較的雨が得られる冬の間に成長させ、本格的な乾燥期を前に収穫するため。	イタリアなどが属する地中海性気候の最大の特徴は、「夏季に雨が少なく乾燥し、冬季に一定の降雨がある」という点です。主食となる小麦は、乾燥に強い性質はありますが、成長には一定の水分が必要です。そのため、雨が降る冬の間に成長させ、完全に乾燥してしまう夏が来る前に収穫するという合理的なサイクルが成立しています。一方で、夏には乾燥に強いオリーブやブドウなどの樹木作物の栽培が行われます。
問2	答え 3 加盟国がまとまることで市場規模を拡大し、アメリカや中国などの大国に対抗できる経済競争力を確保するため	ヨーロッパの国々は一つひとつがアメリカや中国などの大国と比較すると経済規模が小さいため、統合することで巨大な単一市場を作り出し、国際社会での発言力や経済的な競争力を高めることを目的としています。また、かつて戦火を交えた国々が経済的に深く結びつくことで、地域内の平和を維持するという背景も重要です。
問3	答え 3 先端技術産業	ロンドン郊外などの都市周辺では、大学や研究機関との連携が容易なことから、情報通信技術やバイオテクノロジーといった先端技術産業（ハイテク産業）が発展しています。かつての石炭や鉄鋼を中心とした重工業から、知識集約型の産業構造へと転換が進んだ結果、このような産業の集積が見られるようになりました。
問4	答え 1 北大西洋海流という暖流の上空を、偏西風が吹いて暖かい空気を陸地に運ぶため。	ヨーロッパ西部の気候形成には、海流と風の組み合わせが不可欠です。低緯度から流れてくる暖かい北大西洋海流の影響で、周辺の海上の空気は温められます。その温かい空気が、一年中吹いている偏西風によって陸地へと運ばれるため、高緯度であっても冬の気温が比較的温暖に保たれます。これにより、西岸海洋性気候特有の「気温の年較差の小ささ」が生まれます。
問5	答え 4 北大西洋海流 ― 偏西風	北大西洋海流は、赤道付近から北西ヨーロッパに向けて流れる暖流です。また、偏西風は地球規模で吹く風の一つで、中緯度地帯において一年中西から東へと吹いています。ヨーロッパはユーラシア大陸の西側に位置するため、この偏西風が北大西洋海流（海）の上を通って陸地に入ること、冬でも比較的暖かい空気が供給されます。対照的に、季節によって風向きが変わる風は「季節風（モンスーン）」と呼ばれます。
問6	答え 4 地中海性気候	温帯の中でも、大陸の西岸で見られる特有の気候です。夏季は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬季は偏西風の影響などで雨が降ります。この気候を利用して、夏季の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培や、冬季の降水を利用した小麦の栽培が行われるのが特徴です。
問7	答え 2 ヨーロッパ各国の分業体制がとられており、各国で製造された部品をトゥールーズに集約して最終製品を組み立てている。	フランスの航空機メーカーであるエアバス社を中心とした航空機産業は、巨大な開発費や高度な技術が必要となるため、ヨーロッパ各国が協力して分業体制を築いています。イギリス、ドイツ、スペインなどの各国で分担して製造された主翼や胴体などの大型部品は、最終的にフランス南西部のトゥールーズに運ばれ、そこで最終的な組み立てが行われます。これにより、一国では困難な大規模プロジェクトを国際協力によって実現しています。
問8	答え 4 パリ	フランスの首都であるパリは、北緯50度付近に位置しており、これは日本の最北端よりも北に位置することを意味します。また、経度の基準となる本初子午線（イギリスの旧グリニッジ天文台を通る経度0度の線）にも近い、ヨーロッパ大陸西部の中心的な都市です。
問9	答え 4 ① 欧州連合（EU） ② ユーロ	ヨーロッパでは、第二次世界大戦後の反省から、経済や政治の面で統合を進めるために欧州連合（EU）が発足しました。この組織の中で、国境を越えた経済活動をさらに活性化させるために誕生した共通通貨がユーロです。ポンドはイギリス（現在はEUを離脱）などで使われてきた通貨であり、ドルは主にアメリカ合衆国で使われる通貨です。
問10	答え 4 地中海性気候の農業	地中海沿岸に見られる、夏の乾燥に強い作物を選んで育てる農業形態を指します。夏に降水量が少なく乾燥し、冬に一定の雨が降るという独特の気候区分である地中海性気候の名称がそのまま農業の呼び名になっています。西岸海洋性気候は一年を通して降水がある気候であり、促成栽培は日本の宮崎平野などで見られる出荷時期を早める栽培方法です。
問11	答え 1 北西部の鉄鉱石資源や、自国の石炭を用いた火力発電による電力を背景に、アルミニウム工業などが発展している。	ロシアの工業は、国内に点在する天然資源とエネルギー資源を効率的に結びつけることで発展してきました。北西部の鉄鉱石は鉄鋼業の基盤となり、国内の石炭資源を利用した火力発電は、製造工程で膨大な電力を消費するアルミニウム工業を支える重要な要素となっています。地形や資源の分布が、その国の主要な産業構造を決定づけている事例といえます。
問12	答え 1 広大な平野において大型の機械を用いた大規模な農業が行われているため。	アメリカ合衆国、カナダ、ロシアは、いずれも非常に広大な国土と平原を有しています。これらの国々では、トラクターやコンバインなどの大型農業機械を導入し、少ない人数で効率よく大量の作物を生産する「企業的な農業」が行われています。これにより、自国で消費する分を大きく上回る生産量を確保できるため、世界市場への安定した輸出が可能になっています。
問13	答え 1 欧州連合（EU）	第二次世界大戦後のヨーロッパでは、戦争を繰り返さないための経済協力から統合が始まりました。1993年のこの組織の発足により、域内での移動の自由が保障され、共通通貨「ユーロ」の導入や政治的な連携強化が進められました。これにより、加盟国は一つの大きな市場として世界経済に強い影響力を持つようになりました。